



1 「富富富」の生育状況(6月18日現在)

- 現在の生育は、近年並みで、このまま平年の気象で推移すると幼穂形成期は、7月10日頃になると見込まれます。

<6月18日現在 生育調査結果と幼穂形成期予想>

	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本)		葉令	葉色	幼穂形成期 (幼穂長 2mm)
			株当り	m ² 当り			
本年	5/11	36.1	20.7	461	9.3	4.8	予想: 7/10頃
近年	5/11	31.7	21.0	429	9.2	4.4	7/10

※近年: H28~30年平均

2 穂肥の施用

(1) 分施の場合

- 田植え時期や地域により、幼穂形成期(幼穂長 2mm)が異なるので、幼穂長や生育状況を必ず確認した上、的確に穂肥を施用し、穂揃期の葉色を4.2~4.5に誘導してください。

<生育状況による穂肥施用時期・施用量の目安(分施体系)>

幼穂形成期の生育の目安	1回目の目安		2回目の目安	
	時期	肥料名と施用量 (/10a)	時期	肥料名と施用量 (/10a)
草丈: 62cm程度 茎数: 580本/m ² (70株植なら27本/株) 葉色: 4.0	幼穂長 1.5cm時 (幼形期7日後)	追肥3号 7kg	1回目から 1週間後	追肥3号 10kg

※生育が過剰な場合は、1回目の穂肥時期を遅らせるか減肥する。

(2) 肥効調節型肥料(富富富専用全量基肥肥料)を施用した場合

- 原則、追加穂肥は施用しない。
ただし、幼穂形成期14日後(7月24日頃)に、葉色は4.2未満の場合は、出穂3日前(走り穂が確認される頃)に、「追肥3号」で7kg/10a施用し、穂揃期の葉色を4.4に誘導する。

葉色が濃く推移している
ので、
生育を抑制させましょう。

3 水管理

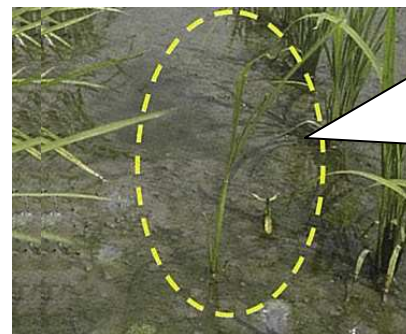
- 中干し後、幼穂形成期まで落水期間が少し長い(目安:通常1.5倍程度長い)間断かん水とし、幼穂形成期以降は、コシヒカリと同様に行いましょう。

4 病虫害防除

- 病虫害防除は、穂揃期に「ラブサイドキラップ粉剤DL」のみを散布しましょう。
- また、1作を通じての農薬の使用成分数は12成分以内となっていますので、気をつけましょう

5 その他

- 雑草が多い場合は、手取りで抜き取りましょう。
- 漏生稲(前作の品種が発生したもの)が見られたら必ず手取りしてください。



今年は、漏生稲が多く発生しますので、注意してください。

今月のGAP: 農薬の散布前には、周辺住民や周辺作物の栽培者への周知を徹底し、無風又は風の弱い時間帯に散布しましょう。